



「まちづくり未来会議について」

魚沼市まちづくり委員会 会長 平井正尚

平成16年11月1日に旧北魚沼六か町村が合併し、「魚沼市」になってからあと2ヶ月で満10歳の誕生日を迎えます。その年に生まれた赤ちゃんは、小学校4年生になるわけですから時の速さを感じます。合併前に108人の合併ビジョン策定検討委員会でまとめた「うおぬま進化論」が、第一次の魚沼市総合計画にそのまま反映されたわけですが、本年は平成28年度から向こう10年間の魚沼市第二次総合計画(仮称)を策定する年にあたります。

今回この策定作業にあたってとられた手法は、無作為で市民2千人を抽出し、総合計画策定の趣旨や中味を伝え、希望をとったうえで参加者を募るという方法でした。その名も「まちづくり未来会議」と名付けられたこの会議には、合併ビジョン策定検討委員会を上回る125人の方々の応募があり、第1回の会議は去る7月13日に小出郷福祉センターで行われました。第1回の午前は、市の担当課から趣旨説明や市の現状、アンケート結果の説明があった後、午後は小チームに分かれて重点課題の洗い出しや市の目指すべき将来像のイメージなどの話し合いが持たれました。第2回目は、8月28日・29日の両日に約60人ずつA、Bグループに分かれて分野別の検討作業に入りました。①生活・都市基盤 ②環境衛生・自然 ③健康・福祉 ④産業 ⑤教育・文化 ⑥市民協働・自治体経営の各ジャンルです。まちづくり委員会からは、約20人がこの未来会議にファシリテーター役として参加しています。ファシリテーターの役目は、各6人の小チームメンバーの意見を引き出し、議論の中身や結果には介入せず、メンバーが納得する合意形成を促進する進行役を務めていくことになります。

また、まちづくり基本条例の改正検討作業も5月末から始まり、先日第7回目の検討委員会が行われ、ほぼ最終形となりました。やがて市民の皆様にも、今回の改正の趣旨や条例の中味、及び逐条解説も含めてお知らせすることになっています。

今は1年先、2年先でもなかなか先が読めないように、いろいろな状況変化が激しい時代です。国立社会保障・人口問題研究所が昨年3月に発表した2025年の魚沼市の人口は、32,630人と推計されています。加速化する高齢化、少子化、人口減少社会に向かって、まさにこれからの10年間は、今まで以上に魚沼市にとって大事な期間と言えるでしょう。みんなで私たちが住んでいるこのまちをより素晴らしいまちにするよう知恵を出してまいりましょう。



生活自然環境部会

部会長:森山右文

私たちの部会は、「自分たちで出来る活動から始める」を合言葉に花植えやピオトープ造りを行い、花が咲き昆虫が飛び交うまちづくりを目指しています。

◎花いっぱい運動の実施

平成24年度から、国道17号と国道352号との井口新田交差点の2箇所で行っています。

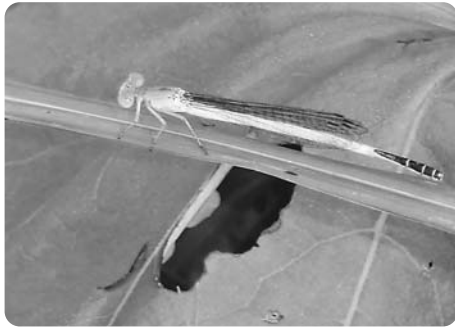
6月頃 サルビア・マリーゴールド等の花苗450株

11月頃 チュウリップの球根300個



◎魚沼花自慢コンテスト

市政10周年の記念行事として実施中、来年度以降の実施については、部会で検討中입니다。



◎昆虫コミュニティの復活

平成25年度に入広瀬にピオトープを造り、トンボ等の昆虫やトノサマガエルの生息状況を観察中です。



一緒に考えよう 部会員募集

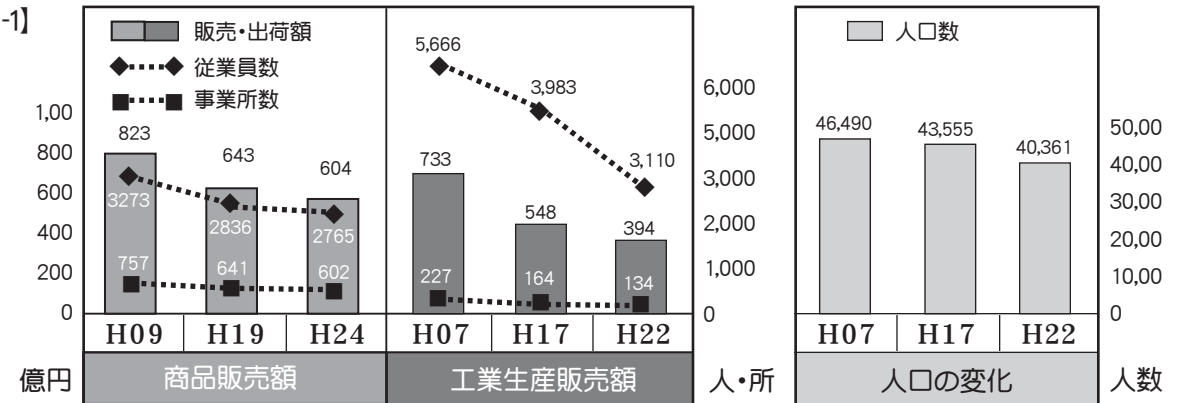
申込みは、まちづくり室まで
792-9752

地域産業振興部会

部会長:清水義次

1.市の財源基盤の減少が止まらない

【表-1】



【表-1】でわかるように、自主財源の多くを占める税収入基盤、商品販売額、工業生産販売額・就業人口の減少が続くなか、財政健全化は必要な経費を削減するだけでなく、経済活動を積極的に刺激し、活性化による自主財源の確保に、市民挙げて取り組みましょう！

2. 地域産業振興部会の活動を、魚沼市の自然環境(雪・水・森林)を利用し、市民目線で!

たとえば...

◆次世代を担う方!新しい農家を志す方!
酪農に興味がお有りの方! これからの魚沼市に興味をお持ちの方!新感覚で参加ください!

■ブランドに磨きをかけ
付加価値を高めた農業や新たな畜産業を魚沼ブランドに育て上げるものはないか?

こだわりの 魚沼ブランド



◆食に敏感な主婦の方! 美食の殿方!
創ることにこだわるシェフや板前さん!
あなたのノウハウ・匠で参加ください。

■魚沼産の食材(農業)をベースに、この地でない出来な「うおぬま特産食加工品」を市民総出で考えては...!

■温泉街の方、後継者の若主人、天然温泉を利用したまちづくりに興味をお持ちの方々、温泉利用の面から参加ください!

■天然温泉と遊休施設再利用の官民一体の取組を研究・提案しましょう。

うおぬま 創作パン

うおぬま スイーツ

うおぬま Pizza

■ようこそ!人が住む
世界一の豪雪地体験ツアーへ!

◆温泉街の方、後継者の若主人、天然温泉を利用したまちづくりに興味をお持ちの方々、温泉利用の面から参加ください!

■天然温泉と遊休施設再利用の官民一体の取組を研究・提案しましょう。

福祉健康部会

部会長:石井健友

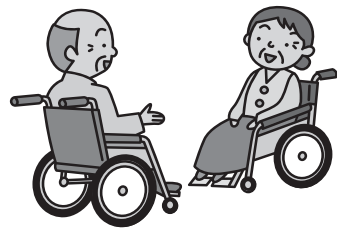
★福祉健康部会員は、「参加します。」と手を挙げた市民の集まりです★

福祉と健康は、成熟した社会にとって大切なテーマです。

日本国においては、年金制度・健康保険制度・介護保険制度などの公的制度が機能しているものの、それに従事している人材不足、制度を支える資金不足が懸念されています。

福祉健康部会は、身近な人たちの、**⑤だんの暮らしを⑥幸せにする「ふくし」**を考えています。そして、「ふくし」を実感してもらえるよう活動に取り組みます。

部会の目的に沿う身近な活動、アイデア、積極的な意見、夢(願望)がある部会員を募集しています。福祉健康部会員は、「参加します。」と手を挙げた市民の集まりです。挙げた手でハイタッチ!!



教育文化部会

部会長:桜井俊幸



教育文化部会では、毎月1回の部会を開催し、魚沼市のコミュニティ教育、子育て環境づくりについてワーキングや勉強会を行っています。

部会メンバーからの提案により、学校教育では得られない地域での学びの仕組みづくりにつなげようと、自主事業として「魚沼寺子屋」を企画・運営しています。

昨年から8月中旬に「夏休み寺子屋・結」を開校し、教員OBによる夏休みの宿題へのアドバイスや木工、絵画のスケッチなどを行っています。他にも、ニジマスのつかみ取りや鮭の稚魚の放流体験の場を設けています。

一昨年、市民から教育文化部会へ新たな子育て環境づくりの提案がなされ、子育て支援法の勉強会をしながら、まちづくり委員会の市民会議のテーマとして「子育て」を掲げ、講演会やパネルディスカッションを行い、魚沼市の将来を担う子どもたちのための仕組みづくりを考えています。

さらには、伝統文化の推進や継承をするために、1月15日の小正月（賽の神）を魚沼市の休日にと、魚沼市へ提案するなど、教育文化によるまちづくりを話し合っています。ぜひ、市民の皆さんから気軽に参加していただき、地域での課題を話し合いながら解決していければと思います。

新役員あいさつ

副会長 浅井重吉

4月の総会において、前任者の関良則副会長に代わり、まちづくり委員会副会長に指名されました教育文化部会の浅井重吉です

魚沼市まちづくり委員会は、平成20年2月、市とパートナーシップ協定を結び設立いたしました。魚沼市民全員がまちづくり委員です。市民と行政の協働のまちづくりを、4部会で実施し活動に結び付けるよう、平井会長・各部会長への協力と魚沼市全体の「安心」「快適」「いきいき」「ふれあい」「活力」のある地域づくりのために、少しでもお手伝いができますよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

さて、まちづくり委員会の今年度基本方針の一つに「コミュニティ協議会との連携を図ること」があります。私も5月まで入広瀬コミュニティ協議会会長として準備会から7年間、コミ協活動を地域活性化に向け「協働と共創の地域づくり」を掲げ自主的活動を行って参りました。

今現在、魚沼市内には12コミ協が設立されております。各コミ協とも、地域住民主導型の地域づくりを進め、実現に向けコミュニティ活動を推進し、積極的に取り組んでおられると思います。

また、今年からまちづくり委員会と各コミ協との地域づくり、及び行政とコミ協との協働により、さまざまな力が連携し、また提供することにより、豊かな関係が生まれると思います。

最後に、まちづくり委員会では、魚沼市第二次総合計画(仮称)策定のための「まちづくり未来会議」での原案の作成に向けて、ファシリテーターとして参画し、未来会議運営に協力しています。

まず市民全員がまちづくりの動向を踏まえ、それぞれの役割を実感し、行動に移すことが大事だと思います。これからも、市民全員がまちづくり委員です。御協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

やっと街に灯りが戻ってきました。マイマイガの大量発生で、一部道路の街灯や駐車場の灯りが灯されず、この夏は文字通り“暗い街”になっていました。さすがに真っ暗というわけではなく、昭和30年代頃の日本が、発展途上国の夜の感じででしょうか、どこか雰囲気が似ていて懐かしいような感じがしました。

なくなって初めてわかることはたくさんあります。これもその一つでしょうか。当たり前には享受していた、煌々と明るく輝く街並みが暗くなり、それも懸念されている電力不足ではなく、自然要因から来たものだという事、又考えさせられます。

何が起るかわからない日々ですが、“明るい街”で、明るい気持ちで過ごしていきましょう。

(佐藤)

平成26年9月10日 第7号 ■発行:魚沼市まちづくり委員会 ■編集:まちづくり委員会だより編集委員
■連絡先:魚沼市まちづくり室(魚沼市役所湯之谷庁舎) Tel 025-792-9752/Fax 025-793-1016
E-mail:chiiki@city.uonuma.niigata.jp
■まちづくり委員会ホームページ: <http://www.machidukuri-uonuma.com>